

土木学会 舗装工学委員会
「路床・路盤小委員会」設立趣意書

舗装工学委員会では、以下の研究小委員会を新たに設置します。本小委員会に参加いただける方々を公募致します。なお、本小委員会の活動のための旅費等は支給されません。

1. 委員会名称

路床・路盤小委員会

2. 委員会名称

舗装（表層と路盤で構成）は路床の上に構築され、路盤は表層を支持するとともに交通荷重を分散して路床に伝え、路床は舗装と一体となって交通荷重を支持し、路体に対して交通荷重を分散するとともに、舗装の施工の基盤としての役割をもつ。

この路床・路盤に用いられる材料は、粘土から礫までと粒子の大きさは幅が広く、水分や気温の影響を受けやすく、締固めの程度によっても性質が変化する。これら路床・路盤の特性の評価は、舗装の合理的な設計・施工・維持管理を行う上で非常に重要となる。

2024年に制定された舗装標準示方書では、ライフサイクルマネジメントの考えを取り入れるとともに他の構造物分野にける標準示方書と整合を図った性能照査型設計法が示されており、舗装標準示方書に則った舗装の合理的な設計・施工・維持管理を行うには、路床・路盤の構造体としての特性や材料の特性の理解、それらの評価法の検討が必要である。

これまで、土木学会 舗装工学委員会 舗装材料小委員会では、「アスファルト混合物分科会」、「リサイクル材料分科会」とともに「路床・路盤材料分科会」を設置し、路床・路盤材料の特性と評価を中心に調査・研究を行ってきたが、本小委員会では舗装材料を対象としているため構造や施工に関する調査・研究は行ってきていない。

そこで、舗装材料小委員会が終了するにあたり、標記小委員会を設立し、路床・路盤に関する設計・材料・施工に関する調査・研究を行い、舗装の合理的設計・維持管理に資することとしたい。

3. 活動内容

路床・路盤の材料や構造について、特性や試験・評価方法、施工方法を調査研究の対象とするが、当面は以下の項目について調査研究を進めるものとする。

- ・環境の変化による路床・路盤材料の特性
- ・路床の剛性の合理的評価方法

4. 活動予定期間

2024年度から3年度間

5. 成果の公表

本小委員会の活動により得られた成果を報告書としてとりまとめるとともに、講習会等の開催により成果を会員ならびに社会に還元する予定である。

6. 委員構成

委員長候補：川端伸一郎（北海道科学大学）

幹事長候補：山中光一（日本大学）

委員候補：路床・路盤材料分科会メンバー及び公募

7. 応募方法

路床・路盤小委員会への参加をご希望の方は、以下の事項を記載の上、2024年5月31日（金）までに下記申込先まで“メール”にてお申込み下さい。

(1) 記載事項

- ① 氏名，ふりがな
- ② 所属機関名，部署名，役職
- ③ 所属機関所在地
- ④ 電話番号
- ⑤ メールアドレス
- ⑥ 土木学会からの委員就任委嘱状の要否

※委嘱状について

- ・委員本人宛に郵送されます。
- ・「本人宛の委嘱状」＋「所属長宛での委員派遣依頼状」とすることも可能です。
委嘱状に加えて，所属長宛の委員派遣依頼状が必要な方は，所属長の役職・氏名も併せてお知らせ下さい（この場合も委員本人に郵送）。
- ・委嘱状等が送付されるまでの流れとしては，「募集締切り→希望者のとりまとめ→作成（土木学会本部）→本人宛郵送」となります。
お手元に届くまでには時間を要しますので，ご容赦願います。

(2) 申込先，問い合わせ先

日本大学理工学部交通システム工学科

山中 光一（やまなか こういち）

E-mail：yamanaka.kouichi@nihon-u.ac.jp

TEL：047-469-5217